福岡市総合計画審議会
都市の成長部会
会議録

日時 令和6年10月25日(金) 13時00分

場所 TKPガーデンシティPREMIUM天神スカイホールメインホールA

出席者（五十音順、敬称略）

石堂 高大

貝和 慧美

黒瀬 武史

高木 智代

中村 弘峰

星野 幸代

石丸 修平

金谷 明倫（代理出席 山口）

坂井 猛

田中たかし

林田 茉優

水木 祐一

猪野 猛

久保 文一

調 崇史

徳永 美紗

古川 清文

森川 春奈

福岡市総合計画審議会 都市の成長部会

〔令和6年10月25日（金）〕

開 会

1 開会

○事務局（高橋） それでは、定刻となりましたので、ただいまより福岡市総合計画審議会、都市の成長部会を開会いたします。私は事務局の福岡市総務企画局企画調整部長の高橋でございます。本日の進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日もYouTubeによるLive配信を行っております。

まず、お手元の資料を確認させていただきます。

資料の右肩に記載しています資料番号を御覧いただき、資料1から4がお揃いか御確認ください。また、お手元のファイルに参考資料の8、9を追加で綴じ込んでいます。

すべてお手元にごございますか。不足がある方や、本日、委員個別のファイルをお持ちでない方は事務局職員までお申し出ください。

本日の資料もお手元のファイルに綴じて事務局で保管することも可能でございます。また、後日郵送でお届けすることも可能ですので、詳しくは会議の最後に御案内いたします。

なお、委員の皆様のお出席状況は、お手元の配席表にて代えさせていただきます。

それでは、ここからは部会長に進行をお願いしたいと思います。坂井部会長、よろしくお願いいたします。

2 議題

○坂井部会長 それでは、ここから進行を務めさせていただきます。

本日は、この都市の成長部会による最後の会議でございますので、皆様よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議題である原案の修正案について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（染井） 企画課長の染井でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、私から第10次基本計画の原案に対する市民意見募集、いわゆるパブリック・コメントの結果を踏まえた原案の修正案について御説明をいたします。恐れ入ります、着座にて失礼いたします。

それでは、まず、お手元の資料1を御覧ください。今後のスケジュールでございます。

赤い枠で囲んでおりますのが本日の部会でございます。本日は、パブリック・コメントの結果を御報告いたしまして、その対応案等につきまして委員の皆様から御意見をいただき、来月14日に予定しております総会における答申案の取りまとめに向けた最終調整をお願いしたい

と考えております。

また、本日後半では、8月の総会におきまして基本計画の下位計画に当たります実施計画、政策推進プランと呼んでおりますが、これがどのようなものなのか、また、計画全体としてどのように評価を行っていくのかといったイメージを示す必要があるという御指摘をいただきありがとうございましたので、これを受けまして、本日は、現在検討中の実施計画につきまして、後ほど現在の検討状況を御説明いたしたいと考えております。

資料1については以上でございます。

続きまして、資料2を御覧ください。こちらはパブリック・コメントの実施結果でございます。

第10次福岡市基本計画の原案に対しまして、9月10日から10月7日までの4週間、御意見を募集いたしました。閲覧・配布場所や意見の提出方法等につきましては記載のとおりでございます。5番に意見の提出状況をまとめております。

320名の方から延べ409件の御意見をいただきまして、その内訳としましては、原案を修正したものが67件、原案どおりとしたものが27件、その次の「記載あり」としておりますのは主に具体的な取組みなどの御提案でございます。その趣旨に沿った方向性が既に原案に記載されているといったものを分類しております。こういった類いのものが229件、それから最後の「その他」は、質問ですとか感想といったものが86件ございました。

続いて6番に、主な意見の概要ということで、40件弱、御意見を掲載してございます。

ここで資料3を御覧ください。

こちらには409件全ての御意見の要旨とその対応案をまとめております。少し字が小さくて申し訳ございません。本日、時間に限りがございますので、この一つ一つを御紹介することはできませんけれども、本日はこれらの御意見を踏まえまして対応状況ということで、次の資料4、第10次基本計画原案修正案に沿って主な対応状況等を御説明させていただきたいと思っております。

資料4の表紙をまず御覧いただければと思います。

前回までと同様、新たな修正箇所につきましては、朱書き、アンダーラインをつけてお示しをしております。また、一番下に青字（見出し）ということで今回初めて記載をしてございます。こちらは本計画を策定した後、冊子として作成をする際に掲載するものをお示ししております。

具体的には、この表紙を1枚めくっていただきまして、目次を御覧ください。

ここに青い文字で「福岡市総合計画の体系」、「福岡市基本構想」、そして一番下に「参考資料」とございます。これらは基本計画そのものではございませんけれども、冊子として一緒に取りまとめる予定としておりますので、今回、その完成形をイメージしていただけるよう御用意したものでございます。

続きまして、1ページを御覧ください。

こちらは福岡市総合計画の体系としまして、これまでの審議会でも何度か御説明をさせていただきました基本計画の位置づけを表しております。最上位に福岡市が長期的に目指す都市像を示した基本構想がございまして、その実現に向けた方向性を示すものが基本計画になります。さらにその下には具体的な事業や取組みを示した実施計画がございまして、この三つを合わせて総合計画という位置付けになっております。この実施計画につきまして、先ほど申しましたとおり、後ほど御説明を少しさせていただきたいと思っております。

続きまして、2ページを御覧ください。

こちらは、基本計画の上位に当たります福岡市基本構想につきまして、目的と四つの都市像をお示ししているものでございます。

5ページを御覧ください。

ここからが基本計画でございまして、パブリック・コメントの意見を御紹介しながら御説明をさせていただきます。

まず、5ページですけれども、MICEについて注釈が欲しいという御意見が複数ございました。これを受けまして、記載のとおり、ページの下のほうに注釈を追加しております。

また、このページに五つ青い丸がございましてけれども、一つ目の冒頭、「福岡市は、大陸に近いという地の利に恵まれ」というくだりがございましてけれども、ここで歴史的な背景を示しております。これに関しまして、年表みたいなものがあつたほうがいいのではないかといった御意見をいただいております。その対応案ですけれども、61ページを御覧ください。

こちらは巻末の参考資料という位置付けになりますけれども、61ページから62ページにかけて、「福岡市のあゆみ」ということで年表を追加しております。

お戻りいただきまして、今度は6ページを御覧いただければと思います。

こちらでは、都市経営の基本戦略というところで、ページの下のほうに図がございましてけれども、左側の「生活の質の向上」と右側の「都市の成長」を矢印で結んでおりますが、右から左へ向けた矢印の部分で、都市の成長が生活の質の向上につながる部分の関係性について、文言の修正の御意見をいただいております。

具体的には、この図のすぐ上の「都市が成長し、」という後に「成長の果実によりさらに生活の質を高めていく」という表現になっております。もともと原案の段階では「都市の活力が生活の質を高める」としておりましたが、この本文の言い回しのほうが分かりやすいということで、このように改めているものでございます。

また、右側の7ページにおきましては、3か所ほど朱書きの修正箇所がございましてけれども、こちらは表現の統一といった観点からの御指摘を受けまして文言を修正したものでございまして、趣旨としては変わっておりません。

続きまして、8ページを御覧ください。

ここでは、都市圏全体の発展に関連していただいた御意見でございます。報道等でも出ているかと思いますが、福岡市の地価が上がっていることに伴いまして、ファミリー世帯が転出しているということをここに記すべきではないかといった趣旨の御意見でございました。この点につきましては関心も高いのではないかというふうに承知しておりますので、少し御説明をさせていただきたいと思っております。

8ページに地域別社会移動の状況という図がございますけれども、左上のほうに福岡都市圏の転出入の状況を記載してございます。こちらが最新の令和5年の実績になりますけれども、少し小さい字で申し訳ありませんが、転入が1万2,624人、転出が1万3,058人となってございまして、差引き400人ほどの転出超過でございまして、おおむね均衡していると思っております。

この数字ですけれども、福岡市の人口の最新値は165万6,737人でございまして、この400人というところは、割合で申しますと0.02%になっております。

64ページを御覧いただければと思います。

こちらにも巻末の参考資料でございまして、こちらかなり小さい資料で申し訳ありませんが、64ページにグラフが四つあるかと思っておりますけれども、その左下でございまして、社会動態（地域別）ということでお示しをしております。

この中で、下から2番目にあります紺色の折れ線が福岡都市圏の転出入を表しております。御覧いただければ分かりますとおり、この20年ほど、1,000人前後の転出超過ということでおおむね横ばいで推移をしております。実はさらに遡りますと、1990年代、それから2000年の冒頭にかけては、もう少し、4,000人、5,000人といった転出超過の状況でございましたけれども、この20年ほどはおおむね横ばいという状況が続いております。一番右、最新値は先ほど御覧いただきました434人ということでございまして、これは過去30年、40年と遡っても2番目に少ない転出の数字となっておりますので、地価の上昇に伴って都市圏への転出が増えているというような結果には数字上になっていないということが実情でございまして。

また、ファミリー世帯という言葉も入ってございましたけれども、世代別で分析をいたしましても、子育て世帯中心になってくるであろう30代、40代に例えば着目をして見ても、転出が近年増えているというデータにはなっていないところでございまして。

この受け止めといいますか、転出超過が続いている状況についてですけれども、福岡市は自然に囲まれておりまして、市域も比較的小さい市でございまして。生活圏、経済圏を同じくしております福岡都市圏の市町に住みまして福岡市内に通勤通学されるといったニーズについては従来あるものと認識しております。もちろん地価ですとか住居費の上昇が全国的に課題として生じていることは承知してございますので、引き続きその点に関しては適切な取組みを進めてまいりたいと考えております。

続きまして9ページを御覧ください。

ここでは、前回8月の総会でいただいた御意見を踏まえまして、一つ目は②日本における役割というところですが、前回、「地方創生」という言葉を入れておりましたが、一般的な言葉にしてはどうかという御意見をいただきまして、「活力ある地域づくり」という表現に修正しております。

それから、③のアジアにおける役割のところでは、「文化」という視点が必要だということで御意見をいただきまして、言葉を追加したものでございます。

少し飛びまして、16ページを御覧ください。ここからは分野別の目標でございます。

まず、(2)の市民意識の部分ですけれども、前回の総会の時点では目標ごとに一つ市民意識の調査を行うという案で御提案をさせていただきましたが、総会の中で、目標ごとに三つずつ聞いたほうがいいのかといった御判断をいただきましたので、それに沿って調査を実施しております。こちらが数字としてその結果を追加したものでございます。

それから、その右側、17ページですけれども、施策1-1で「男女共同参画」という部分が朱書きになってございますが、ここは前回、「女性の活躍」という言葉を入れておりましたけれども、女性だけではなく男性の活躍も重要であるといった御意見をいただきまして、より大きな概念というところで「男女共同参画」という言葉に修正したものでございます。

20ページを御覧ください。

この目標3におきましては、(3)現状と課題の部分を朱書きで修正をしております。パブリック・コメントの中で、公共交通やコンビニ、スーパーといったものについてもっと充実してほしいという御意見が相当数ございました。それを踏まえまして、公共交通や商業施設等の集積に地域差があるということを追加したものでございます。

また、右側21ページですけれども、施策3-3の部分、防災に関する御意見も今回様々いただいております、その中で具体的に御提案がございました「各種訓練の実施」という言葉を今回追加しております。

22ページを御覧ください。

目標4でございます。この項目につきましては、市民意識の数字を加えた以外、本文の修正は特段ございませんけれども、自然を大事にしてほしいという趣旨の御意見をかなり多くいただいておりますので、その点をこの場で御紹介させていただきたいと思っております。

続きまして、26ページを御覧ください。

目標6でございます。ここでは、ページの下の方にございますBRTについて注釈が欲しいという御意見をいただきまして、追加をしております。

また、(1)のめざす姿の部分で三つ目に掲げております「都市の成長を牽引する高付加価値なビジネスの集積などにより、国内外の人材にとって、仕事の選択肢が充実している」ですとか、それから、(3)の現状と課題の四つ目ですけれども、「次代を担う若者が東京圏などへ流出している現状があることから、活躍できる場の創出が必要」、こういった部分に関連し

た御意見を複数いただいております。この辺りに対応する考え方を施策に盛り込んだほうが良いという御意見がございまして、右側の施策6-4のところに、「国内外の人材が活躍できる場を創出」という言葉を加えております。

続きまして、28ページを御覧ください。

ここでは、審議会で御意見をいただきました(1)のめざす姿の二つ目のところですが、スタートアップが「地場中小企業や学生など多様な主体と連携する」ということで黒のアンダーラインを引いております。過去に対応させていただいた部分でございすけれども、パブリック・コメントでも、こういったスタートアップと地場中小企業等の連携を施策にも取り入れるべきだという御意見をいただきまして、右側29ページの7-3の部分にこの趣旨を加えたものでございます。

続きまして、31ページを御覧ください。

施策8-2です。「外国企業の誘致」という部分を朱書きしておりますけれども、ここはその直前にございます「世界で活躍するグローバル人材やその家族にも住みやすいまちづくり」という部分と並列の関係にございまして、「これらを一体的に推進します」という文脈となっております。

前回の原案におきましては、この「外国企業の誘致」という部分が世界で活躍する云々という部分の前に入っていたんですけれども、その組立てだと文脈が読みづらいという御意見がございまして前後を入れ替えたものでございますが、趣旨は全く変わっておりません。

また少し飛びまして、40ページをお願いいたします。

区のまちづくりの目標でございす。区のまちづくりの目標につきましては、例えば東区の箱崎ですとか博多区の空港周辺など、個別の地域についてもっと具体的なことを書いてほしいといった御意見をいただきましたけれども、これまで審議会でも御説明をしておりますとおり、この基本計画は福岡市の大きな方向性を示すという性格のものでございすので、個々の地域について踏み込んだ具体的なことを書くのはなかなか難しいところでございす。

このため、御覧いただいております40ページ、41ページに、7区に共通する地域施策の方向性ということで、それぞれの地域で必要な取組みをまとめているところでございすし、この次の42ページ以降では、区レベルで特徴や課題、取組みの方向性といったものをお示ししているところでございす。

したがいまして、個々の地域に特化した課題、方向性等につきましては、実施計画や分野別計画など、適切なレイヤーで引き続き検討してまいりたいと考えております。

47ページを御覧ください。

こちらは注釈ですけども、エスコートゾーンについて注釈が欲しいという御意見をいただいております。

56ページを御覧ください。

ここからは参考資料でございます。計画を冊子にする際に巻末に掲載する予定の内容を、完成形のイメージとして載せているものでございます。

まず、56ページから57ページにかけましては、策定の経緯ということで、昨年度行いました第9次基本計画の振り返り、それから市民意見募集、そして素案の検討、そういった取組み、そして今年度、皆様をお願いしております総合計画審議会の開催状況等についてお示ししております。右側のページには、それぞれ文章でそれぞれに対する説明を加えております。

58ページを御覧ください。

こちらは、本日御説明しておりますパブリック・コメントの実施結果を掲載しております。また、その右側の59ページから60ページにかけましては、計画策定に携わっていただきました総合計画審議会の委員の皆様の名簿を掲載させていただく予定としております。

それから、61ページ、62ページにつきましては、先ほど冒頭で触れました福岡市の年表、そして、63ページ以降には、参考データ集ということで、人口をはじめとしまして様々なデータを掲載したいと考えております。

最後になりますけれども、パブリック・コメント全体としまして、「分かりやすい計画になっている」ですとか「昨年度の意見募集で提出した意見が反映されていてうれしい」といった御意見も多数いただいております、計画策定に御尽力をいただいております委員の皆様に御礼申し上げますとともに、今後とも市民の皆様の御意見をしっかり市政に取り入れていくことが重要であると受け止めているところでございます。

私からの説明は以上でございます。御審議のほど、よろしく願いいたします。

○坂井部会長 ありがとうございます。

では、この第10次基本計画については、来月の総会で総合計画審議会としての答申をまとめることとなります。本日の審議はその前の最終調整ということですので、ここで1時間程度の時間で、原案の修正案について御意見、御質問がある方、お願いしたいと思います。ございますでしょうか、いかがでしょうか。

どうぞ、委員。

○委員 御説明ありがとうございます。

1点だけ確認といいますか、質問になります。8ページの社会増減の話の御説明がありましたけれども、足元では400人の転出超過、それから20年間転出超という状況で、社会増減については社会減であると。一方、自然増減で見ますと、それを補う形で出生数でカバーをするから福岡都市圏の全体としては人口が増えていきますという理解で合っておりますでしょうか。

○事務局（染井） お答えいたします。

8ページの図に載っておりますのは、福岡市と福岡市以外の都市圏の市町との関係性として、福岡市から都市圏の市町に転出が400人ほど多いということでございまして、この都市圏全体としてさらに外側の九州ですとか全国との関係性で見ますと、転入のほうはかなり多いというところで、トータルでは人口が増え続けているということでございます。

○委員 理解いたしました。ありがとうございました。

○坂井部会長 ほかにいかがでしょうか。委員、どうぞ。

○委員 すみません、資料2のパブリック・コメントの実施の件で伺ってもよろしいですか。

○坂井部会長 はい、どうぞ。

○委員 資料2のパブリック・コメントで提出された御意見が述べ409件ということで記されております。この409件というのが多いのか少ないのかがちょっと分からないものですから、第9次の計画のときにどれぐらいあったのかを見させていただいたら535件あったんですね。130件近く減ってるということで、今回このパブリック・コメントを実施した側としての御意見なりお考えをまず1点伺いたいのと、それを閲覧できる場所を3番目に記入されておまして、情報公開室とか様々、当時からホームページもありましたし、変わってないと思うんですが、前は皆さんの地域に近い各公民館での閲覧が可能であった。150近い会館があると思うんですが、それをしなかった理由というか、できなかった理由なのか、その辺の詳細をちょっと教えていただければと思います。

○坂井部会長 事務局からいいでしょうか。

○事務局（染井） ありがとうございます。まず1点目ですけれども、延べの件数につきましては、今、委員から御指摘ありましたとおり、五百数十件あったものが409件ということで100件強トータルでは減っているところでございます。

一方で、この人数ですね。今回、320名の方からいただいたという状況でございますけれども、第9次基本計画のときは112名の方からご意見をいただいております、人数ベースで見ると200名ほど増えているというところが片やございます。

また、ここに閲覧・配布場所は載せておりますが、どのように周知したかという部分で言いますと、すべての小中学校に御案内をお送りして、また、高校、大学にも意見の募集をしているということを展開して、ぜひ幅広く意見をいただきたいという呼びかけを行ってまいりまし

た。その結果、より多くの方から御意見をいただくことはできたと思っております。

あと、1通の意見の中に件数がどれだけ載っているか。前回で言うと平均するとお一人で5件ずつぐらい載っていたところがございます。その点の受け止めは、推測みたいな部分も入ってくるんですけども、今回、昨年度から市民の皆様にかかなり幅広く意見をお伺いしてそれを取り込んできたという部分、そして今年度、審議会でもずっと磨き上げていただいたことで、ある意味、完成度がそういう意味では高かったところもあるのかなとは思っておりますが、そういった受け止めをしております。

公民館につきましても、パブリック・コメントのルール上はここに記載してあるような場所でやるというのが基本ルールになってございまして、プラスアルファでどういった取組みをするかという工夫をしておりますけれども、その中で今回は学校のほうにアプローチをしたというのが実態でございます。

以上でございます。

○坂井部会長 どうぞ。

○委員 もう1点。素案を作成していく段階で、63ページからの参考データ集ですね。すごくいい資料が掲載されているんですが、字が小さ過ぎませんか。もうちょっと努力いただいて、普通に見えるような形でちょっと字を大きくしていただくことを要望だけさせていただきます。

以上です。

○坂井部会長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

どうぞ、委員。

○委員 各種学校にパブリック・コメントをされたみたいですけど、回答率はどれぐらいだったんですか。そして、回答された方の性別や年齢が大体どれぐらいの方が知りたいです。

○坂井部会長 どうぞ。

○事務局（染井） パブリック・コメントに関しましては、お名前と御住所を書きいただくというルールになっており、それ以上の情報は出さなくていいという仕組みになっております。出さなくていいというのは我々がということではなくて、御意見を出される方が書かなくていいという仕組みになっておりますので、これに関しては、今おっしゃったような年齢ですとか性別という集計ができない仕組みになっております。

以上です。

○委員　そして、先ほどの委員も言われたとおり字が小さいというのと、これに関連する、例えばここはこの資料を見てほしいんだということで、下のほうに参考資料何とかと番号を振ってけると皆さんがより分かりやすくなると思うので、そこの工夫をよろしくお願いします。

○坂井部会長　よろしいでしょうか。ほかにいかがでしょうか。大体いいですかね。

先ほどお話ししましたとおり、本日は最後の部会となりますので、基本計画にはなかなか表せない具体的なことも構わないんですけども、御専門のところ課題と感じていることなどもしあれば、どなたかいらっしゃらないでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

○坂井部会長　ありがとうございます。そうしたら、修正についてはこの辺りで一旦閉じたいと思います。

〔「異議なし」の声あり〕

○坂井部会長　ありがとうございます。

続きまして、参考資料として追加されている政策推進プランについて、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（花田）　政策推進プランを担当しております企画課長、花田と申します。策定中の政策推進プランにつきまして、私から御説明させていただきたいと思います。着座にて御説明させていただきます。

前回8月の総会におきまして市民意識について御議論いただきましたけれども、その中で計画の進捗管理や施策の評価をどうしていくのか、全体像としてどういったイメージになるのかといった御意見をいただいておりますので、本日は少しお時間をいただきまして、政策推進プラン及びその中で設定をいたします指標について御説明させていただきたいと思います。

まず、お手元のファイルにとじ込んでおります参考資料8、政策推進プラン（素案）を御覧いただければと思います。

これまでの総合計画審議会の場におきましても、具体的な取組を示すものが政策推進プランと御説明をしまいましたが、こちらの素案におきまして、基本計画との関係性といったプランの位置づけでございますとか、基本的な考え方をまとめたものがこちらの素案となっております。

恐れ入ります。資料を1枚おめくりいただきまして、目次を御覧いただければと思います。

政策推進プランの大きな構成ですけれども、第1編の総論でプランの基本的な考え方を、第2編で、基本計画に定める分野別目標が八つございますけれども、それぞれの目標に基づきま

して具体的に取り組む事業を、第3編で基本計画における区のまちづくり目標に基づいて取り組む事業をまとめていくこととしております。

この素案は、プランの検討状況といたしまして、第1編の総論部分を整理いたしまして本年9月に公表したものでございます。

すみません、2枚ほどおめくりいただきまして資料の1ページを御参照いただければと思います。

政策推進プランの位置づけについてでございます。こちらにつきましては、これまでの御説明と重なる部分ございますけれども、政策推進プランにつきましては、計画期間を4年間といたしまして、御審議いただいております基本計画を推進していくに当たっての具体的な取組、事業をまとめるいわゆる事業集という位置づけのものでございます。

隣の2ページでございますが、事業区分等を記載させていただいております。本市の事業は、細かいものも含めると約3,000弱の事業がございます。プランを整理していくに当たりまして、上段には、事業に政策的な優先度をつけていこうという考え方、下段には、その優先度を判断するにおきまして現状や課題を踏まえた今後4年間に注力すべき分野、財政状況なども踏まえながら必要な施策事業を推進していこうという考え方をまとめております。

さらに1枚おめくりいただきまして、3ページから6ページまででございますけれども、こちらは福岡市の現状と課題として、基本計画の各分野別目標で記載をしております現状と課題をベースに、さらにその状況を示すデータ等を整理して併せて記載をさせていただいているものでございます。先ほど基本計画におきましても参考データ集という形でデータを示しておりますけれども、こちらのプランにおきまして、改めてデータを整理させていただいているところでございます。

少し例示をさせていただきますと、恐れ入ります、先ほどの資料4をちょっと御覧いただければと思っておるんですけれども、資料4の基本計画原案修正案の24ページを御覧いただければと思います。

資料4、基本計画原案修正案の24ページの下段に(3)現状と課題ということで記載をしておりますけれども、この中の①におきまして、2行目、「陸・海・空のゲートウェイとしての機能や受入環境の充実、九州の自治体等と連携したプロモーションの実施などにより集客力は向上している」といった記載でございますとか、②におきましてMICEに関連する動き等を現状と課題として基本計画のほうにも記載させていただいております。

こちらを受けまして、素案におきましては、恐れ入ります、5ページをちょっと御覧いただければと思います。この参考資料8、素案の5ページ中段に「観光・MICE」とカテゴライズした枠がございます。こちらにおきまして、先ほどの基本計画の記載を受けまして、具体的な、例えば一つ目のポツにおきましては、入込観光客数の数字の推移でございますとか、こちらが一番下、MICE関連の数値といたしまして、国際会議開催件数といった推移をお示し

させていただいているところでございます。

続きまして、この素案の7ページを御覧いただければと思います。

素案の7ページには、重点化の考え方といたしまして、新たな基本計画を推進していくに当たり、基本計画に掲げる生活の質の向上と都市の成長の持続的な好循環などの実現に向けまして、今後4年間、市が特に力を入れて取り組んでいくべき分野の設定を行っているものでございます。この重点分野及びいち早く取り組むべき緊急性の高い課題への対応といった観点から、事業の政策的な優先度を設定していきたいと考えてございます。

隣の8ページでございしますが、事業構築の視点といたしまして、事業を構築、推進していく上での基本的な姿勢、考え方といったものをまとめてございます。

またさらに1枚おめくりいただきまして9ページでございしますが、こちらが先ほど来、今回の議論の中心となる部分でございしますが、指標の設定といった部分でございすとか、こういった形で進行管理をしていくかという部分をまとめたものでございます。

さらにその隣の10ページ以降が第2編となりまして、具体的な事業をお示ししていく部分でございす。こちらにつきましては、素案の段階では、11ページ以降を御覧いただきますとお分かりのとおり、サンプルとさせていただいてございまして、こちらについて第10次基本計画の八つの分野別目標ごとに施策の体系を整理していく、具体的には、30ございす施策それぞれに対しまして、具体的な事業を掲載していこうという方向性を記載しているものでございす。

恐れ入ります、続きまして、参考資料9を御覧いただければと思います。

こちら参考資料9は、「政策推進プラン第2編分野別目標ごとの施策・事業（骨子）」とタイトルを打たせていただいているものでございます。こちらが、これまでの審議会の中でも議論となつてございす計画の進捗管理に向けて、政策推進プランにおいて記載をいたします各指標の検討状況をまとめた資料でございす。

本資料の構成につきましても、先ほどの政策推進プランの第2編と同様、第10次基本計画における八つの分野別目標と30の施策の構成を踏まえて整理をさせていただいております。

なお、少し補足になりますが、タイトルの下に米印で「既存事業を中心に作成」とさせていただいてございすけれども、こちらにつきましては、今後、令和7年度に向けまして予算編成などを行っていくこととなつてございす。このため、今後新しく実施する事業につきましては、こちらの資料には記載できておりませんので、今後追加で整理していくということで記載させていただいている趣旨でございす。

本資料の内容について具体的に御説明させていただきたいと思ひます。

参考資料9の13ページを御覧いただきたいと思ひます。また、併せまして、恐れ入ります、先ほどの資料4の基本計画原案修正案の24ページ並びに25ページをお開きいただければと思ひます。

この補足資料の参考資料9の13ページでございますけれども、まず先頭に、目標5「磨かれた魅力に人々が集い、活力に満ちている」ということで、タイトル、基本計画における分野別目標を書かせていただいております。

さらにその下に、「分野別目標の市民意識」といたしまして三つの市民意識を書かせていただいておりますが、こちらは先ほど御覧いただきました資料4、基本計画原案修正案の24ページの中段、(2)市民意識と記載させていただいている部分と全く同じ内容をこちらのほうにも記載させていただいております。

参考資料9のほうになりますけれども、さらにその下に施策5-1「観光資源の磨き上げと戦略的なプロモーションの推進」とございますけれども、こちらが基本計画で申し上げますと25ページ、(4)の先頭でございます施策5-1と同じ表現となっているところでございます。

政策推進プランにおきましては、施策ごとに施策を評価する指標といたしまして指標を置いていきたいと考えてございまして、13ページで申し上げますと、5-1にございます「施策」と書いてある下の表に入込観光客数及び観光消費額といった項目を置かせていただいております。この二つの項目によって、施策5-1の進捗、評価といったものを行ってまいりたいと考えてございます。

さらに、政策推進プランにおきましては、具体的に取り組む事業についても記載をしております。施策5-1におきましては、ちょうど真ん中あたりに「事業」と書かせていただいている表がございますけれども、この下に記載の黒丸「魅力の磨き上げ」に資する事業といたしまして、海辺を生かした観光振興、美術館・アジア美術館・博物館の魅力向上、食のユニバーサル対応の推進、歴史・文化を生かした観光資源の磨き上げ、祭りの振興といった事業、さらに「戦略的なプロモーションの推進」に資する事業といたしまして、その下、高付加価値な観光誘客、広域周遊観光の推進、福岡型ワーケーションの推進といった事業を政策推進プランのほうに記載をしてまいりたいと考えてございます。

また、これに加えて、それぞれの事業名の右側に指標という欄を設けさせていただいております。こちらにつきましては、各事業を評価する指標として設定をしているものでございまして、先ほどの魅力の磨き上げの下にございます「海辺を生かした観光振興」という事業に対しまして、「北崎・志賀島エリア来訪者数」といった指標でその事業の進捗を評価していくといった形で、事業ごとにその指標を設定してまいりたいと考えてございます。

また、事業の中には、こちらの13ページにはございませんけれども、1ページのほうに戻っていただきまして、こちらの事業に「すべての人にやさしいまちづくり」と書いた黒丸がございます。その下から2番目、「インクルーシブな子ども広場の整備・運営」といった事業を書かせていただいておりますけれども、こちらにつきましては、指標として「令和7年度に各区1か所の整備を完了させる」といった定性的な指標を設定させていただきまして、全体として定量的あるいは定性的な指標を設定してまいりたいと考えてございます。

なお、こちら参考資料9につきましては、各指標について検討中のものをございまして、一部指標項目、それから、それぞれ目標値については検討中とさせていただいてございますけれども、評価にふさわしいものになりますよう、今後引き続き検討を重ねてまいりたいと考えてございます。

総合計画の全体の進捗管理におきましては、基本計画に設定をいたします市民意識、それから、政策推進プランに設定をいたします施策ごとの指標及び事業の指標、これら各指標の推移を把握いたしまして、総合的に評価、分析を行ってまいりたいと考えてございます。また、毎年度、施策評価といたしましてこの結果の取りまとめを行いまして、総合計画審議会にお諮りの上、最終的には議会への御報告、ホームページでの公表を行ってまいりたいと考えてございます。

また、その評価分析の結果や社会経済情勢の変化などを踏まえまして、4年ごとに策定をいたします政策推進プランにおきまして、指標も含めて見直しを図っていききたいと考えてございます。

最後に、こちらの政策推進プランの策定スケジュールについてでございますが、基本計画につきましては、総合計画審議会でご答申いただきました後、12月の議会に議案として提出させていただく予定でございます。こちらで可決をいただきますと、基本計画の内容が確定いたしますので、これを受けまして今年度末、具体的には3月頃になるかと思いますが、政策推進プランの原案として整理を行ってまいりたいと考えてございます。その後、基本計画と同様、パブリック・コメントを経まして、来年6月に成案というスケジュールで取り組んでまいります。

説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○坂井部会長 ありがとうございます。これは審議会として諮問を受けているものではないということですが、基本計画に関連いたしますので、御意見、御質問がありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

どうぞ、委員。

○委員 ありがとうございます。資料9について発言させていただきたいと思っております、それぞれ基本計画に載っている目標ごとに施策があって、その施策体系ごとに数値、指標がこれから検討されていくということだと思うんですけど、個人的に強弱のところ少し気になっていまして、資料9の5ページに「困難を抱える子どもや若者を支え」というところがあります。この中に「様々な環境で育つ子どもへの支援」というのがあって、「子どもの貧困対策」ということがあって、ここに対応する指標は、恐らくこのままだと一つなんだろうと思うんですけど、子どもの貧困の問題は、例えばの話でちょっとここを取り上げたいんですけど、たしか副市長を本部長にして子どもの貧困対策本部みたいなものをつくって全庁横断で取り組ん

でいただいているかなり大きな政策課題だと思っているんですが、必ずしも一つのテーマについて指標が一つでなければならないという整理ではないほうがいいのではないのかなど。福岡市がどのぐらいこれを大きな問題として捉えているとか、例えば子どもの貧困の問題で、一つの指標で、いや、対策ができていますとなるはずがないわけで、例えば子どもの貧困の大本はもちろん親の貧困状態だと思っていて、シングルの御家庭が養育費をちゃんと受け取れているとか、養育費を得ていく上での法的なところのお手伝いというのは助成金を出してやっていただいているんだけど、例えばそれがどのぐらい伸びるかとか、あるいは、そもそも貧困状態にある御家庭が減っていくのかとか。

今、子どもの貧困の福岡市の状況って実は数字を追えていないので、できればチャレンジしてほしいなという期待も含めて申し上げているんですけど、それぞれ強弱というのがあるべき項目、政策課題があるのではないのかなと思いますので、できればそういう表現ができるような表づくりにしていただいて、その強弱は、市民の皆様が御覧になって、え？ これだけ？ とならないように気をつけていただきたいということを申し上げたいと思います。

以上です。ありがとうございます。

○坂井部会長 ありがとうございます。

事務局いいですか。

○事務局（染井） ありがとうございます。御指摘いただいたとおり、事業によって幅の広さは様々あると思っておりますので、必ずしも一つの事業に一つの指標ということではなく、必要なものをしっかり設定、検討していきたいと考えております。ありがとうございます。

○坂井部会長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。どうぞ、委員。

○委員 ありがとうございます。御説明いただいてありがとうございます。すごく分かりやすかったです。

私もこの資料9を見て、指標は一つじゃなくていいと思ったんですけども、もちろん指標は定量的に測りやすいものであればあるほど結果が出たときに分かりやすいという面はあるんですが、今回やっていただいたパブリック・コメントの市民の方々からの意見というのはすごく勉強になりましたし、それを踏まえて修正された部分というのはよりよくなっているなと感じました。

なので、実際に市民の方々はどう感じているのかという実際の声を聞くのはやはりすごく重要なので、指標の中にぜひ入れていただきたいなと感じています。

特に観光の部分では、入込観光客数の指標があったと思うんですけども、それはどこの市

でも必ず入っている指標になるかなと思うんですが、それに加えて住民の方々が、観光客の方々がたくさん来ていて、自分たちの生活の範囲でどう変わっていてどう感じているのかというのも指標に入れることで、そこを目指さなければいけないということを、事業をやられている皆さんが忘れないと思うんですね。なので、やはりそういったところは入れたほうがいいかなと思いました。

以上です。

○坂井部会長 ありがとうございます。よろしいでしょうか。重要な御指摘だと思いますので、記録をお願いいたします。反映していただければと思います。

ほかにいかがでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

○坂井部会長 では、御発言いただいている委員、何かございますか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

○坂井部会長 ありがとうございます。

こちらのほうの委員、いかがでしょうか。今までのところ、よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

○坂井部会長 ありがとうございます。では、大体御意見をいただいたということにさせていただきますと思いますが、最後に副部会長の石丸さんからお願いいたします。

○石丸副部会長 ありがとうございます。副部会長の石丸でございます。

今の参考資料の9に関しては、先ほどお二方の委員からお話がありましたが、指標設定を多様にする、きめ細かな設定をすることには私も賛成でございます。

その中で、例えば16ページの施策6-1の「都市活力を牽引する都心部の機能強化と魅力向上」のように、幅広くまちの在り方を施策で捉えているわけですが、基本計画で大変分かりやすく施策のあるべき方向性を示していただいている中で、施策の指標のところ「都心部の従業者数」みたいな形で言葉としてまとまってしまうと、計画で示そうとしていることがどうしても見えづらくなってしまいます。指標の設定のあり方は難しい点もあるかと思いますが、この指標設定によって見えづらくなってしまふのは大変もったいない。例えば、従業者数だけではなくて、来外者の魅力の向上や、満足度など、多面的な評価があるのではないかと。事業レベルではこれらが反映されてくるのかもしれませんが、施策ごとにまとめた指標としてしまうと、事業で設定した成果みたいなものが見えづらくなるのをどうしていくのかというのは

御検討いただけたらと思います。

あと、指標も、施策や事業の進捗度を示すものとしての指標という側面と、やはり市民の方々であったり実際に事業が動いて形になったものを示しているものと、幾つか考え方があるんだらうと思います。その辺の考え方などはしっかりと整理をいただけると、これを御覧になったり、あるいは評価をされる方々が大変分かりやすいものになるのかなと思いましたがので申し上げたいと思います。

最後に、それに関連して、市民意識のところでもまずこの現状が示されたわけですがけれども、これをどう捉えるのか、そして今後、施策なり事業にどう展開していくのかということは考えていく必要があると思っておりますので、この点について、そのような問題意識を持っているということだけ申し添えたいと思います。

以上です。

○坂井部会長 ありがとうございます。

それでは、本日の審議はこの辺りにとどめたいと思いますがよろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

○坂井部会長 では、今日いただきました御意見は、一昨日開催された生活の質部会の意見と合わせて対応を検討していただき、次回の総会で答申案を示せるように事務局で調整していただきたいと思えます。

事務局から全体を通して何か補足等ありましたらお願いします。よろしいですか。

それでは、以上をもちまして本日の議題については終了とさせていただきます。進行をお返しいたします。

3 閉会

○事務局（高橋） 坂井部会長、石丸副部会長、ありがとうございます。

以上をもちまして福岡市総合計画審議会、都市の成長部会を閉会いたします。

次回は最後の総会となります。開催日時は御案内していただきましたとおり、11月14日木曜日の10時からを予定しています。開催通知は別途お送りいたします。

本日の資料につきましては、机の上にそのまま置いておいていただければ、事務局でファイルに綴じ込み、次回の総会で御用意いたします。資料を持ち帰られる場合、郵送を御希望される方は近くの職員にお声かけください。

それでは、お忘れ物のないよう、お気をつけてお帰りください。本日は誠にありがとうございました。

閉 会